



平岸スクールゾーンだより

2020.4.22

Web版

No.1

新学期が始まりようやくいつもの学校生活が取り戻せると思った矢先、再度、休業期間に入ってしまった。登校していた期間は、本格的な春の陽射しがふりそそぐ日もあり、子どもたちも元気いっぱいグラウンドで外遊びをしていましたが、また自宅での時間が多くなり、運動不足も心配なところでした。

自粛期間ということで、交通量もいつもの春よりは少しだけ減っている印象もありますが、道路の雪が消え暖かくなったので、車のスピードは上がってきているようです。また、車道、歩道を問わず、道を行き来する自転車の姿も見られるようになりました。

何かと制約の多い年度のスタートになってしまいましたが、今年度も、スクールゾーン実行委員会としては、子どもたちを「交通事故」から守っていくための取組を進め、そのための情報提供などを学校や地域の皆様と一緒に行っていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

例年の様に始業式の日から行っていましたが PTA 環境部と教職員による登校時交通安全指導のアンケートを掲載いたします。このような時期ではありますが、外に出かけることも皆無ではありませんので、ご家庭でも、交通安全について今一度話題にしてください。

●（JAさっぽろ前交差点）

普段から危ないと感じる交差点ですが、早朝に立ってみて車の量とスピードはいつもより怖いと感じました。特に子供達に問題はなかったのですが、自転車と右折車両でひやっとする場面や、まだ赤信号なのに自転車で渡ってしまう場面を見かけました。

○（天神山オートガススタンド前）

澄川方面から学校方面にわたるタイミングですが、新1年生の付き添いのお母さんに伺ったところ、渡る先の信号が青になった時点で渡っているそうです。他の学年の子どもたちの登校状況も同様で、ちゃんと信号を確認してから渡っていました。

各ご家庭でも
指導をお願いします！

- 信号待ちでは、一歩下がる。縁石ギリギリに立たない。特に交差点で曲がる自動車に注意する。
- 車だけではなく、自転車にも注意する。また、自分が自転車に乗る時にもきまりを守り、特に信号のある交差点では点滅している時にギリギリで横断しない。
- 天神山オートガススタンド前、三角避難帯のある横断歩道を渡る時は先の信号が青になってから左右を確認して渡る。

「ストップマーク」もよく見てね！

